

# みやけの風

## 第 100 号

平成14年(2002年)10月26日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア 市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「わりや知ってんか?」「何をよ~」「何をって、『みやけの風』は今回が100号なんだぞ」「まさかよ」「右の上の数字を見てみろって」「ホントだ」「そんだけ長く避難しているってことだけども、考えてみりゃ、みんなからの支援もそんだけ続いてるってことだじよ」「たくさんの勇気をもらったよな」「おうよな。『ふれあい集会』も近いだし、また元気だすべえよ」「だから」

### みんなの声

100

多くの方々のご支援に支えられて、2000年10月より発行しつづけてきた『みやけの風』が100号をお届け出来ることに深く感謝申し上げます。

困難な暮らしを余儀なくされている島民の皆さまへの励ましと、希望と暮らしの情報誌として、更には紙面を通じての交流の場として発行し続けてまいりました。

今、この『みやけの風』が多くの島民の皆さまの手から手を通じて、その心に届けられていることをお聞きするたびに、この小さなニュースがほんの少しのお役に立っていることをうれしく思います。

支援センターは、帰島の日まで皆さまとともに歩んでまいります。そして、『みやけの風』もその日まで、発行され続けます。

引き続き、皆さまの手で育てて下さいますよう、心から希望いたします。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
事務局長 上原 泰男)

支援の形もあるのかな」と思いましたので、比較的軽い気持ちで引き受けさせていただきました。

周りからは、「毎週の発行は大変だね」と言われます。確かに大変な仕事かもしれませんが、私が続けられていられるのは、このニュースそのものと、そして投稿される原稿に「強い力」を感じるからです。「みんなの声」には、避難直後、1年経過、島民会の立ち上がり、一時帰島その他さまざまな時期において「強く前向きな思い」が伝わってくる文章が寄せられてきました。この思いこそ、ニュースを継続させている「力」だと思います。

『みやけの風』が、離れ離れに避難している方々の連帯感や結びつきをささやかに支えるものの一つになっていることと信じて、避難されている全員が島に戻り、再びさわやかな「みやけの風」を体を感じることでできる日まで、この仕事を続けていきたいと強く思っております。どうぞ、がんばってください。

(連合東京ボランティアサポートセンター 村松 一人)

こんにちは、『みやけの風』で紙面作成(レイアウト)を担当させていただいている、連合東京ボランティアサポートセンター(=連合東京VSCとは、95年1月の阪神淡路大震災をきっかけに、災害についていろいろと学んでいる労働組合(サラリーマン)の集まりです。)の村松です。毎週お配りいただいている方々、そして毎号お読みいただいている方々、本当にありがとうございます。

『みやけの風』の制作スタッフの一人としての仕事を上原事務局長から依頼されたとき、私は、このような新聞を作成すること自体嫌いではありませんでしたし、また、「こんな

支援センター事務局で、『みやけの風』を担当させていただいております、ウラベノリコでございます。たびたびの訂正や週半ばの号外など、お配りいただいている方々には、いつも本当にご迷惑をおかけしております。発行が遅れると『今日はみやけの風はねえのかよ』とお叱りのお電話を下さる方、リード文の様子が変わるとすぐに『どうしたの』と心配をしてくださる方、原稿をお寄せくださる本当にたくさんの方々、心より深く感謝申し上げます。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局  
ウラベノリコ)

次週11月2日(土)は『みやけの風』をお休みさせていただきます。次回発行は、第5回三宅島島民ふれあい集会後の11月9日(土)です。集会の感想など投稿をお待ちしております。

5

# 11/4 島民ふれあい集会 小学校ブースにおいで！

## 手作りおもちゃ

手作り釣りゲームであそんだり  
おもちゃをつくったりできるよ

折り紙教室  
楽しい折り紙をみんなで折ろう  
むずかしいのも教えてくれるよ！

お手紙・お絵かき  
三宅の学校のお友達  
にお手紙を送ろう！

みんなで  
集会に参加して  
交流しよう

談話コーナー  
お茶やお菓子を食べ  
ながらゆっくり話せます

展示コーナー  
三宅村立小学校でのみんなの  
活動の様子がわかるよ

今回も小学校でコーナーを出します。みんなで来てね！ なつかしいお友だちにも会えるかも！

### ( )

秋も深まり、紅葉も見ごろの季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今回も、港社会保険事務所の協力を得て、年金(社会保険)相談コーナーを設けることになりました。加入・給付の手続き、保険料納付や免除申請といった日頃、年金に関してお聞きになりたいことや疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

なお、保険料を納めることが困難な人には、保険料が免除される制度があります。三宅村では、平成14年度の国民年金保険料の取り扱いについては、所得の有無に関係なく免除される特例措置(避難解除されるまでの間)をとっておりますので、免除を希望される方については、この機会に申請してください。

(三宅村役場村民課)

今回の出店は去年11月にオープンしたBar『わ』と言うお店が中心となって、お客仲間がボランティアで参加する予定です。『わ』はお店の収益金で貧しい国に学校を建てると言うオープン当時の目的を持っています。

三宅島ふれあい集会に参加するのは普段から全島避難されている方々の事を気に掛けていたマスターの意向もあり、私も会社で三宅島支援のバザーをやった経験があるので、お

便りを頂いてから相談して参加を決めました。私が韓国人という事でメニューは皆で一緒に作れる韓国風のり巻になった訳です。当日は集まったご飯に味付けをしてハムやお野菜、卵焼きなどを入れて巻き巻き！

確立された組織でもなく、気の合う仲間が一緒になって楽しく進めるだけの事ですが、三宅島の皆さんに少しでも喜んで頂ければと考えています。

(仲間『わ』京 張和(きよんちゃんわ))

その他、たくさんの屋台や相談コーナー(10月の島民連絡会会議でも好評だった『損保相談コーナー』など)も出展します。また、当日一時帰島をされる坪田の方々のため、集会終了後、船の受付時間まで、足を伸ばして一休みできる場所を会場内に用意しております。お誘いあわせの上、どうぞたくさんのご来場をお待ちしております！

実行委員会事務局では、前日からの集会準備や当日の運営、片付けなど、お手伝いくださる島民の方を募っております。前日は、13:00から当日来場者にお配りするものの準備などで人手が必要です。また、当日も役場の職員さんとともに来場者をお迎えし、会場内をスムーズに誘導していただいたり、島民作品展の会場でも人手が必要です。お近くの方や「少し助けてやるか」とお思いの方は、事務局まで、是非お電話ください。

連絡先：第5回ふれあい集会実行委員会事務局(三宅島支援東京センター)

TEL: 03-3260-7573